

コース 41 お ぜ じゅうそう 尾瀬縦走

リーダー CL K/T SL 会幹事

実施日 平成29年10月 7・8日(土・日) 天候 曇り時々晴れ→晴れ

参加者 13人(男性 2 女性 11) キャンセル2人

グレード B上~C

コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
7日 秋葉区役所前		5:30	休憩は西会津PA,会津下郷駅、きらら289
尾瀬御池	9:25	9:45	檜枝岐の集落過ぎから木々の紅・黄葉真っ盛り
うらひうち橋	12:00	12:30	草紅葉の田代湿原を超え、吊り橋手前広場で昼食
三条の滝	14:15	14:30	岩混じり道、梯子、鎖で滝に直面、水量多く迫力満点
見晴十字路・弥四郎小屋	16:35	6:40	木道の滑りやすさに緊張。樹木の黄葉が素晴らしい。
8日 沼尻(ぬしり)	8:55	9:15	追い越して先行した米国人の一行、その他大勢で賑わう
尾瀬沼東岸	10:15	10:55	大井湿原三叉路を経て燧の眺望、長蔵小屋、VCで楽しむ
沼山峠・展望台	11:45	12:10	続々と入ってくる大井湿原後に最後の登りキツイ
御池ロッジ入浴	13:00	14:00	峠~ロッジ~の山々の樹木の陽を浴びた紅黄葉は昨日より更に素晴らしかった
秋葉区役所前	18:15		ほぼ予定時刻で帰着できた

山行等概要(幹事のコメント)

- 総会資料の「明細」の計画では、奥只見湖経由で御池へ入るとした。この場合、送りのバス代も高く、その上只見湖の船賃、尾瀬口からのバス代も加算されるので、参加者がある程度多くないと経費高で無理だと踏んでいた。実施段階での応募者数は14人で実施そのものも検討せざるを得ないレベルだったので、割安となる会津檜枝岐往復とした。
- 一番の目当ての各田代(湿原)の草紅葉は、天候不順の今年なので鮮やかな紅みまではならなかったが、今年としては最適の時期に来たようだった。山腹やコース中に展開する樹林の紅黄葉も最適の時期に遭遇した。
- しかし、湿原はともかくとして、山坂の山中までほとんど木道になったのには驚いた。そして、陽の当たらない樹林帯では、坂の表面が水濡れとコケで滑りやすく、緊張を強いられた。
- 何よりも変わったのは山小屋。全ての部屋が数人ずつ入る鍵付きの個室。部屋前には暖房。トイレは全て洋式の便座。風呂は浴槽も洗い場もゆったりと一変し、カランは水と湯にシャワー付き。おまけに湿原風景を眺望できる。お楽しみの食事は、朝夕共にバランスの取れた結構な内容、おまけに缶ビールはもちろん、生ビールもワインも有りだ。しかも、北アルプスなどの山小屋より割安とくる。外国人客の増加も影響しているのだろうか。
- しかし、所々に置いてある鹿捕獲の装置を見て、湿原の乾燥化と共に、尾瀬の抱えるもう一つの面を何う思いだった。



尾瀬ヶ原のど真ん中

尾瀬縦走に参加して

(834) Y/S

近年は短時間で楽な山行しか参加してないので、歩けるか心配でしたが、十数年前ほぼ同じコースを歩いたことがあったし、何年振りかの尾瀬に会いたいと思っての参加でした。ただ心配ごともありました。

それはいつもの菩提寺山で時々出会う山のベテランが、やはり70歳代の人を尾瀬に案内するのに御池から三条の滝への下りが厳しいので、そのコースは避けると聞いたからです。果たして下ることができるのか？かなりの確率で雨の予報なので濡れた木道を歩かねばならないという心配です。

1日目

区役所をでて、4時間、その間に雨の心配がないような天気になっていた。

いよいよ9時40分に御池出発です。

燧裏林道の木道を歩きます。以前来たとき雷がゴロゴロ、雨の中ずぶぬれになり歩いたことを思い出す。

思ったより歩きやすいが慎重に歩く。しばらくすると目の前が明るくなり姫田代湿原だ。見事な草紅葉。しばらく歩き、吊り橋の裏燧橋の手前の広場で昼食。橋は大きくて綺麗だ。渡りきると谷へ下る道がある。以前は橋が無かったのか？ブナの紅葉が美しい。

三条の滝までの下りは菩提寺山で聞いた通り、やはり急で厳しい。ゆっくり、ゆっくり慎重に下る。

ようやく滝の展望台に着く。豊富な水の滝が神々しい。記念写真を撮り、今度は下った道ではない平滑ノ滝まで登りだ。梯子や鎖もあったが、下りと違って怖くない。分岐の岩の上から遠く下の方に平滑ノ滝の全容を眺める。水の音が聞こえそうな勢いだが、三条の滝と違って川となって流れている。赤田代を経て今日の宿の弥四郎小屋に4時30分到着。宿の前に清水があり、靴も洗える。お風呂も大きくお手洗いも綺麗で快適だ。夕食もハンバーグでご馳走だ。増築の離れの部屋で3室独占。ストーブもつけてもらった。山小屋でないみたいだ。夕食後雨がすこし降り始めたが、明日の予報は晴れだ。ぐっすり眠り明日に備えようと思った。



ノメリ田代尾瀬御池から燧裏林道1班



三条ノ滝 水量が増して豪壮 2班



2日目の朝 弥四郎小屋前



弥四郎小屋から朝霧に包まれている尾瀬ヶ原

2日目

朝起きて宿の前の景色にびっくりした。朝もやの中、至仏山が浮かんでいる。以前尾瀬写真展でみた朝もやの湿原の向こうにダケカンバの白が浮かび上がってる写真に感激したが、それより雄大で幽玄な景色をこの目でみるのだ。ああカメラを持ってればよかった。シャッター押すだけで良い写真がとれそうだ。この感激が味わえたのはリーダーがこの山小屋を選んでくれたからだ。

感謝。記念写真を撮り、6時40分沼山峠めざし、出発。すぐに朝日を受けて輝く黄色の紅葉のブナ林の中を歩く。燧ヶ岳分岐に来る。何年か前ここから登り御池に降りた山行がきつかったことを思い出す。沼がみえてきた。次々と湿原があらわれる。橙色に赤く染まった草紅葉、黄色みをおびたものもある。ほんとにほんとに最高の草紅葉を見せてもらった。振り返れば湿原の向こうに燧ヶ岳の全容がくっきりそびえている。沼の片側を歩いているのだが、大きい尾瀬沼だ。やっと尾瀬沼北東の長蔵小屋に着いて、小休止。大江湿原に出てヤナギランの丘の中心に平野家の墓がみえる。今の尾瀬の自然が守られているのは平野家あってのことなのだろう。12時沼山展望台に到着。沼全体が遠くに見渡せる。そこで昼食。しばらく歩き沼山峠から御池に戻り、入浴後14時頃尾瀬に別れをつけ帰路につく。

今回は外人と触れ合いの機会がありました。若いカップル、アメリカの軍人、団体。今回の参加者の中に外人と談笑している人がいて羨ましいと思ったり、小休止の時黒人から席を譲ってもらった経験もしました。片言の日本語で日本は素晴らしいと言ってました。二日間とも予想外の良いお天気に恵まれ、最高の草紅葉、木々の紅葉、ラクダのようなコブを持った大きな木、ゴゼンタチバナの可愛い赤い実等十分に楽しめた山旅でした。リーダーはじめ参加者の皆さんありがとうございました。



尾瀬沼東岸、燧ヶ岳の全容をバックに



段小屋坂途中の紅黄の樹林



沼尻(ぬしり)この小屋は閉鎖していた



大江湿原、下方にはここの象徴の3本のカラ松